

巻頭言



足利大学看護実践教育研究センター

センター長 杉原 喜代美

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年でした。足利大学看護学部では今できる最大限の教育を全教職員あげて取り組んでまいりました。

その中で、大学教員として教育・研究の成果を大学の紀要という発表の場で皆様にご紹介できることは非常に喜ばしい限りです。

足利大学看護学研究紀要は、発刊9年目をむかえます。9巻1号(2021)は、6編の論文が掲載されております。専門分野での看護についての研究が2編、疫学調査の研究が1編、教育効果についての検討が3編です。

来年度令和4年4月からは保健師・助産師・看護師学校養成所指定規則改正が行われます。ますます、看護職が求められる時代に、どんな状況であろうとも看護の発展のために、教育の質を担保し、研究成果を発表し、よりよい看護サービスを提供できることが重要となってきます。足利大学看護実践教育研究センターは、そのプラットフォームの役割を担っていきたいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

令和3年3月吉日